

課題分析標準項目

基本情報に関する項目

No	標準項目名	基本情報
1	受付年月	令和 7 年 5 月 13 日
	受付対応者	ケアプランセンター ○○
	受付方法	病院のソーシャルワーカーより電話相談
	氏名・性別・年齢・住所・電話番号	北村 洋子さん 女 77 歳 ○○市○○町 1-2-3 ○○○-○○○○
	家族状況	夫は他界。長女と二人暮らし。長女は先天性の知的障害があり、自宅では母親のそばを離れないため、長女の今後の生活をいつも心配している。長男は同じ市内に居住、家庭を持ち就労中。
2	これまでの生活と現在の状況	○○市生まれ。高校卒業後は、事務職の専門学校へ進学。卒業後、自動車部品メーカーに就職。25 歳の時に同僚の夫と結婚、会社を退職し、専業主婦となる。27 歳で長男、32 歳で長女を出産。長女は先天性の知的障害で、小学生の時に療育手帳（B1 判定）取得。その後も、長女の育児中心となる。長男は、大学卒業後、学校教員となり、同じ市内で家庭を持っている。夫は 10 年前に他界。以降は長女（45 歳）と二人暮らし。長女は、通所施設（生活介護）に通所している。 腹痛と食欲不振があり、精査した結果、肝臓がんと診断され、入院中。
3	利用者の社会保障制度の利用情報	介護保険：要介護 2 負担割合：1 割 医療保険：後期高齢者医療保険 年金：老齢基礎年金（月額 15 万円）
4	現在利用している支援や社会資源の状況	なし
5	日常生活自立度（障害）	A2
6	日常生活自立度（認知症）	自立
7	主訴・意向	【相談内容】 平成 25 年より高血圧で定期受診していたが、腹痛と食欲不振で受診。かかりつけクリニックから紹介された医療機関へ検査入院した結果、肝臓がん末期（手術不可）と診断され、主治医より余命 3 か月と宣告された。知的障害のある長女と二人暮らしであり、退院にあたり、今後の長女との生活を踏まえ、介護認定申請。医療機関より居宅介護支援の依頼を受けた。 【本人・家族の要望】 本人：自宅で長女と過ごしたい。自分の体調が悪くなったり、急に入院する時に、知的障害のある長女の生活が心配。 長女：母との生活を続けたい。母がいないと不安。 長男：母にできるだけのことは支援したい。妹の今後の生活は一緒に考えたい。

8	認定情報	認定日 令和 7 年 5 月 8 日 要介護 2 (令和 7 年 4 月 1 日～令和 7 年 9 月 30 日)
9	今回のアセスメントの理由	初回のケアプラン作成のため、アセスメント情報収集 退院時アセスメント

アセスメントに関する項目

No	標準項目名	基本情報
10	健康状態	病名：肝臓がん、高血圧、貧血 身長：156cm、体重 45 kg、BMI 18.5 血圧：130-140/90-100mmHg 受診：〇〇クリニック、2 週間に 1 回 服薬：降圧剤（1 日 1 回朝） 身体のだるさやめまい、倦怠感がみられる。
11	ADL	・寝返り： 自立 ・起き上がり： 布団。腰痛あり負担な様子。 ・移乗： 自立 ・歩行： ややふらつきみられるが自立 ・排尿・排便： 自立 ・更衣： 自立 ・入浴： 浴槽出入りに不安定さはあるが自立 ・洗身： 自立 ・食事： 自立 ・洗面： 自立
12	IADL	・調理： 自立 ・服薬： 自己管理 ・掃除： 自立 ・洗濯： 自立 ・整理・物品の管理： 自立 ・金銭管理： 自立 ・買い物： 自立
13	認知機能や判断能力	問題なし
14	コミュニケーションにおける理解と表出の状況	視力、聴力問題なし 携帯電話（ガラケー）使用
15	生活リズム	自宅での生活時は、長女中心の生活。長女が施設通所日は送り出しや迎え対応。長女が通所中に買い物等の外出を行う。食事でも長女の栄養バランスを考えて調理する。 夜間不眠などはなし。
16	排泄の状況	トイレで排泄可能。やや便秘傾向。
17	清潔の保持に関する状況	自宅生活時は毎日入浴。現在は週 3 回見守り下で入浴。 爪切りも自分で行う。

18	口腔内の状況	部分義歯。定期的に歯科受診行っている。
19	食事摂取の状況	3 食摂取するが、食欲の低下あり、摂取量減少傾向。食事制限などはない。
20	社会との関わり	長女の世話が生きがい。長男家族の訪問もあり、家族旅行をするなど交流あり。 近隣住民とも長年付き合いがあり、長女が幼いころから何かあれば見守りなど協力してくれている。
21	家族等の状況	同市内に住む長男夫婦が休日に訪問し、必要な支援をしてくれる。 長男夫婦は共働き。
22	居住環境	2 階建て家屋（持ち家）。本人自室は 1 階、長女自室は 2 階。玄関上がり框やや高め、自宅内手すりなどの設置なし。その他大きな段差はない。
23	その他留意すべき事項・状況	長女：〇〇相談支援事業所、療育手帳 B I（中等度の知的障害） ADL 自立。本人入院中は短期入所を利用したが、精神的に落ち着かず、不眠や不安状態が続いた。

長崎県介護支援専門員協会（転用禁止）